



はじめに

東京湾は、私たちの国の首都圏の中央部に位置しており、東京湾内の6港のうちの1港が川崎港です。東京湾は古くから埋立てが行われており、横浜や川崎を中心とする京浜工業地帯では石油コンビナートをはじめさまざまな工場が立地し、日本の工業を支えてきました。一方で東京湾は、千葉県、東京都、神奈川県陸域に囲まれて湾口部が狭い閉鎖性海域であるため、外海と内湾との海水交換が滞りやすく、陸からの生活排水や産業排水などが溜まりやすいという特徴があります。そのため夏になると、特定の植物プランクトンが異常増殖することにより赤潮※¹が発生したり、海中の底層付近で酸素濃度が低下し貧酸素※²状態になるなど、海の生きものが生息しづらくなる現象が起きてしまうことがあります。

川崎市では、令和元年度の冬と令和2年度の夏に、川崎港の中にある東扇島公園周辺の海に生息する魚や貝、海草、海藻、プランクトンなどの生きものの調査を行いました。その結果、様々な生きものが確認できたので、たくさんのトピックスとともにみなさんに紹介します。

この冊子を通して、東京湾の中にある川崎港の海の中の環境や生きものについてみなさんに親しみをもってもらい、また、そんな海の生きものが生息しやすい海にするために、みなさんにもできることを考えていただければと思います。

※¹赤潮：30ページ参照 ※²貧酸素：31ページ参照



空から見た川崎港



もくじ

● 川崎港(東扇島公園周辺)の生きもの調査 …	1
● 調査した場所 …	2
● 調査のようす …	3
● 川崎港(東扇島公園周辺)の生きもの …	5
● 川崎港(東扇島公園周辺)の水質 …	27
● トピックス	
① 川崎港(東扇島公園周辺)で みられた指標種 …	29
② 東京湾の赤潮 …	30
③ 東京湾の貧酸素水塊 …	31
④ 海洋プラスチックごみ問題 …	32
⑤ 川崎港(東扇島公園周辺)で みられた外来生物 …	33
⑥ 干潟に現れたグリーンタイド …	35
⑦ 二枚貝の水質浄化 …	36
⑧ アマモ場の機能 …	37
⑨ 稚仔魚を支える海のゆりかご …	38
● その他・参考資料等 …	39

